

日本の山をよくする シンポジウム

日本人が太古の昔から暮らしをともにし、日本の風土の基盤をなしてきた山が、森林の管理不全や、経済の低迷、担い手の減少などによる林業の不振、山村の暮らしの崩壊などで荒廃の一途をたどっています。

このシンポジウムは、そうした危機的状況を国民の共通認識とし、その自然、文化、山村コミュニティを再生し、世界に誇るべき日本の山をよくするために、さまざまな分野の英知を求め、実践していくことを目的として開催します。



【日時・会場】

○日時:2010年2月20日(土)13時開会 ※ 開場 12:00

参加無料

○会場:東京農業大学 18号館1階 講座室 (百周年記念講堂隣)

(東京都世田谷区桜丘 1-1-1 東京農業大学 世田谷キャンパス 裏面交通アクセス参照)

主催:日本の山をよくするシンポジウム実行委員会
(実行委員長 宮林 茂幸)

どなたでもご参加できます。

定員(150名)により締め切りますので、お早めに下記連絡先でお申込ください。※申込様式は裏面参照

【申し込み・連絡先】日本の山をよくするシンポジウム実行委員会事務局(NPO 法人全国水環境交流会)

電話:03-3408-2466 ファクシミリ:03-5772-1608 E-mail:mizukan@mizukan.or.jp

※敬称略, 時間・内容等は一部変更の場合があります

- 12:00~ 会場受付
- 13:00 開会・挨拶・主旨説明
- 13:15 日本の山からの報告(各40分)
- (1) 美しい森林づくり・山づくり
速水 亨 (速水林業)
 - (2) 山の暮らしを再生する
洪澤 寿一 (NPO 法人 樹木・環境ネットワーク)
- 14:35 新たな森林の管理、経営の方策/各地の事例とセッション(発表 各20分)
- (1) 山と都市市民、企業との連携
木俣 知大 (社団法人 国土緑化推進機構)
 - (2) 行政とNPOによる取り組み
堂本 泰章 (財団法人 埼玉県生態系保護協会)
 - (3) 森林組合による新たな試み
内木 篤志 (岐阜県加子母森林組合)
 - (4) 森林と自然エネルギーの開発
堀内 道夫 (株式会社 光と風の研究所)
- 16:15 <休憩 15分>
- 16:30 全体セッション
- ・コーディネーター 宮林 茂幸 (東京農業大学)
- 17:55 閉会挨拶・閉会
- * 終了後、懇親会を予定しています(18:20~20:00 会費制)。事前にお申込みください。

【会場:東京農業大学 世田谷キャンパス 18号館1階 講座室】

- ・山の手線 ◆ 渋谷駅下車(渋谷駅西口)
□バス<渋谷駅~農大前>(30分位)
小田急バス:成城学園前駅西口行(渋24)・調布駅南口行(渋26)
東急バス:成城学園前駅西口行(渋24)・祖師ヶ谷大蔵駅行(渋23)
- ・小田急線
◆ 経堂駅下車 南へ徒歩15分
◆ 千歳船橋駅下車 南へ徒歩15分
□バス<千歳船橋駅~農大前>(5分位)
渋谷駅行(渋23)・等々力操車所行(等11)・用賀駅行(用01)
- ・東急田園都市線 ◆ 用賀駅下車 徒歩20分
□バス<用賀~農大前>(10分位)
世田谷区民会館行(園02) 祖師ヶ谷大蔵駅行(用01)



【申込み記入欄】 ※メールでのお申込みの場合は、下記項目を記入の上お申込みください

お名前 ※複数名記入可	
ご所属 ※代表者のみ	
連絡先 ※代表者 (上記所属・自宅・その他) ↑○印をつけてください	〒 TEL FAX
参加 ○印をつけてください	() シンポジウム参加 名 ・ () 懇親会参加 名

【申込先】 NPO 全国水環境交流会 ファクシミリ 03-5772-1608 E-mail: mizukan@mizukan.or.jp